

霞ヶ浦の水質汚濁の原因

霞ヶ浦の水質汚濁の原因は、大きく2つに分けることができます。

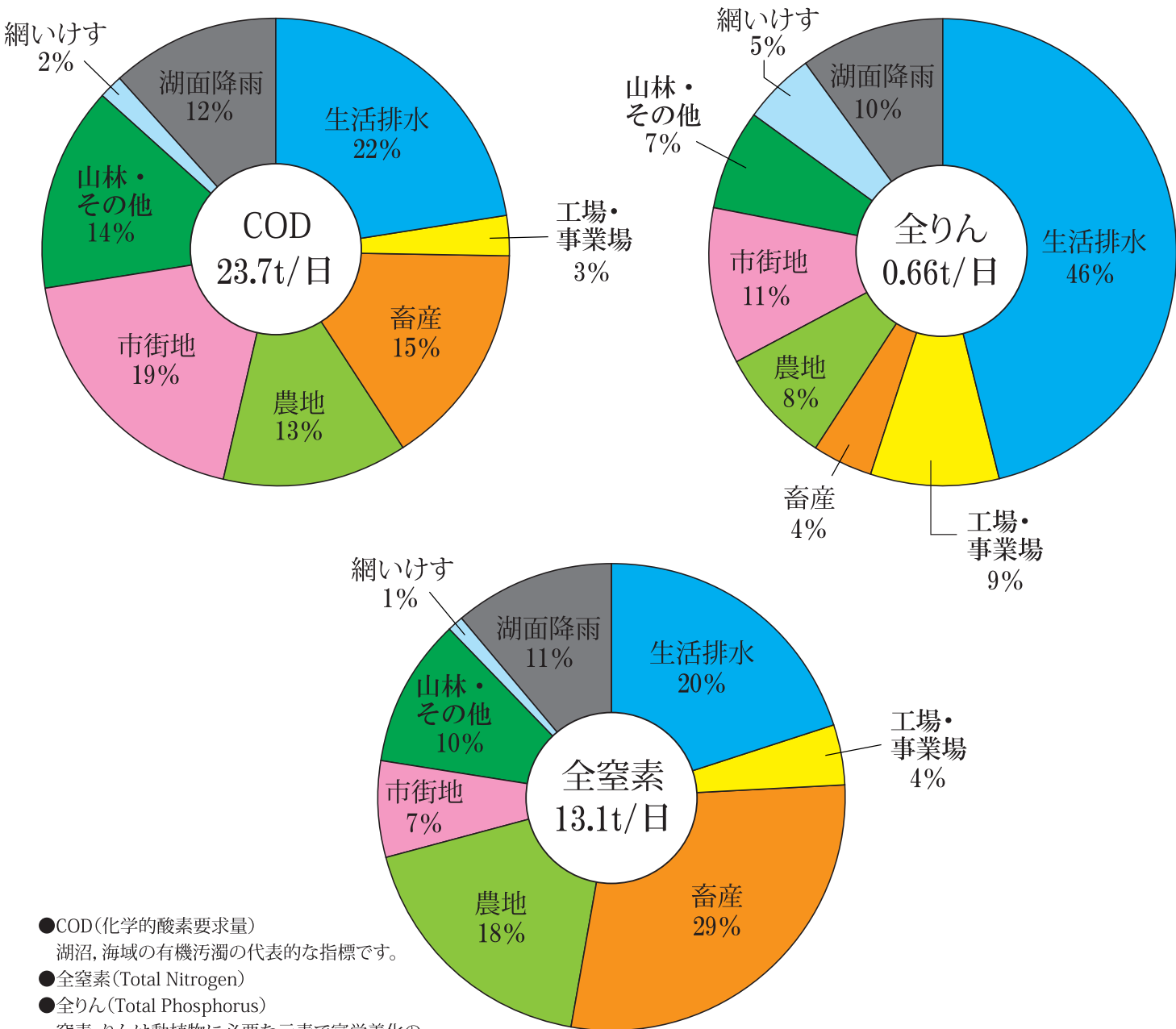
ひとつは、河川などを通じて汚れの元である有機物質や窒素・りんが霞ヶ浦に流れ込むものです。汚れの発生源は下の円グラフのとおり、流域内の生活排水や工場・事業場、豚・牛などの畜産施設、農地、市街地、湖内のコイ養殖などです。また、自然由来の山林からの負荷や湖面への降雨による負荷もあります。

もうひとつは、霞ヶ浦の中で増えるものです。湖底に堆積している泥（底泥）から窒素・りんなどが湖水に溶出し、これらを栄養源として植物プランクトンが増殖し、増えすぎると水質が悪化してしまいます。

流入発生源の中で「生活排水」は、りんでは約5割、COD・窒素では約2割と大きな割合を占めています。

生活排水対策は誰にも出来ることです。霞ヶ浦浄化対策 10ヶ条を守り、霞ヶ浦の水質浄化に努めましょう。

項目別の汚濁負荷割合



●COD(化学的酸素要求量)
湖沼、海域の有機汚濁の代表的な指標です。
●全窒素(Total Nitrogen)
●全りん(Total Phosphorus)
窒素、りんは動植物に必要な元素で富栄養化の指標となります。

注)数値は平成27年度